

脳について

脳は驚くべき複雑な器官であり、その重さは砂糖の大きな袋と同じくらいです。それはあなたの行動のすべてをコントロールします。これにより、感情を考えたり、学んだり、創造したり、感じたりするだけでなく、すべての瞬きや呼吸、心拍を制御することができます。脳の活動の大半は私たちの意識を超えており、私たちは日々常にその巨大な能力に頼ってシステムを作動させているのです。私たちは何も考えず食べ物を処理し、体温を調節し、肺を動かしています。

脳内で問題が発生すると、脳内の問題がある場所に依りて、私たちの行動、動き、見え方、さらには味覚の変化にも現れる可能性があります。

原発性がん

がんが発生した身体の部分にできる腫瘍は、原発性腫瘍または原発性がんと呼ばれます。がんは、例えば、肝臓、皮膚、肺脳など、身体のあらゆる部分に影響を及ぼす可能性があります。肺がんの場合、原発腫瘍は肺にあります。がんが成長するにつれて、近くの正常組織を圧迫したり、損傷したり、さらにはその中に入り込むことによって、影響を与える可能性があります。

転移性がん

時には、がん細胞が原発がんから分離して体内の他の部位に広がり、新しい場所にがんが現れることがあります。

がん細胞は、血流またはリンパ系を介して体内を移動します。がんがこのように広がると、新しい腫瘍は転移性腫瘍または二次性腫瘍と呼ばれます。

脳転移は、肺がんでは比較的よくみられます。非小細胞肺癌（NSCLC）の症例の約10%、小細胞肺癌（SCLC）の症例の最大50%で発生します。

脳転移は、現時点ではあなたの気持ちやできることには影響しないかもしれませんが、次のようなさまざまな問題を引き起こす可能性があります。

- 頭痛
- 気分不良、吐き気
- 無気力または重度の疲労
- 身体の一部を動かすことが困難、またはバランスや調整の問題
- 正常な触覚や感覚の麻痺や喪失
- 気分の変動と行動の変化
- 発作またはけいれん
- 精神混乱
- 読字や会話の困難

これらの症状が脳転移によっていつ、どのように発症するかは、その大きさと脳内のどこにあるかによって異なります。

医師による脳転移の評価方法

症状の有無にかかわらず、がんが脳に転移していると疑われた場合、医師は腫瘍の範囲や可能性のある影響を評価するためにさまざまな確認や検査を実施します。

これらの手順は、医療チームが何が起きているかをより明確に把握し、次に何をしたいのかを考えるための情報を集めるのに役立ちます。

• 慎重な神経学的検査（神経系検査）

脳腫瘍に関連する可能性のある問題がないか、神経系をチェックするための他の検査もあります。検査には、次のようなものがあります。

- 手と四肢の強さ、バランス、協調性
- 膝の反射などの、反射神経
- 聴覚、視覚、皮膚感覚
- 記憶力と精神的機敏性（簡単な質問や算数を使用）

• CTスキャン（コンピュータ断層撮影）

CTスキャナーは、X線とコンピュータを使用して、体内の詳細な3D画像を作成します。スキャンは10～20分かかりますが、予約時間より長くなることもあります。通常、検査後はそのまま帰宅し、食べたり飲んだりして一日を過ごすことができます。

• MRIスキャン（磁気共鳴画像法）

MRI（磁気共鳴画像法）は、強力な磁場と電波を使用して体内の詳細な画像を作成するスキャンの一種です。

MRIスキャンは、脳転移を特定・評価する現在の最善の方法です。スキャン中に画像をより鮮明にするために、ガドリニウムと呼ばれる造影剤を注入する場合があります。

MRIスキャナーは、両端が開いた短い円筒形です。スキャナー内で移動する電動ベッドの上に横になります。スキャナーは非常に狭く、閉所恐怖症の人には困難となる可能性があります。心配であれば、MRIチームが説明し、サポートできます。

動作中は、スキャナは大きなタッピング音を発します。スキャン中に音楽を聴くことができるように、イヤフォンやヘッドフォンを着用することができます。スキャンには最大1時間かかる場合がありますが、通常ははるかに短くなります。

ペースメーカーを使用している場合は、通常MRIを行うことができません。体内に金属があってもMRI検査が受けられないとは限りませんが、例えば金属プレート、人工関節、人工内耳

などがある場合は、必ず放射線技師に伝えてください。

全体的に、スキャンは安全であり、ほとんどの人はスキャンを受けられます。

• 生検（組織検体）

これらの検査から、脳転移があることが明らかになることがあります。異常の性質が疑われ、生検や組織採取が提案されることもあります。これについては、がんチームが常に慎重に話し合います。がんチームは、これが必要な理由、あなたの場合はどのように行われるか、そして入院が必要な期間について説明します。

検体は病院の病理医に送られ、精密検査によって、がんの種類が特定されます。腫瘍が脳細胞から発生した原発性脳腫瘍であることを示すかもしれません。

しかし、腫瘍が実際には他の場所の原発性がんから二次的に発生したがんであることを示す場合もあります。腫瘍は、例えば肺のがんから広がった（転移した）がん細胞によって形成されることがあります。結果は数日で準備できますが、もう少し時間がかかる場合もあります。医療チームから、いつごろ連絡があるのかを教えてください。

がんの種類を知ることで、あなたにとって最善の治療を確実に受けることができます。

次のステップ – 自分に何が合っているかを判断する

脳転移があることは、あなたの原発性肺がんが元の場所から広がっていることを意味します。脳転移の治療には、いくつかの選択肢があります。

- 一般的に、腫瘍の周囲の正常な脳は、水が溜まったり、腫れたりします。これは浮腫と呼ばれ、腫瘍自体の影響を悪化させます。その場合、医師は通常、腫れを軽減するためのステロイド錠の投与を勧め、症状はかなり早く改善する傾向があります。
- 腫瘍の切除が最も効果的なのは、腫瘍が1つしかなく、体の他の部分の腫瘍が良好にコントロールされていると思われる場合です。
- 放射線療法と化学療法は、腫瘍を縮小し、さらなる増殖を抑えるために行われます。

チームは、可能な限り最善の治療を提供するよう取り組みます。

感情的な時間

これは感情的な時間になる可能性があります。脳腫瘍の検出は、一つであれ複数であれ、常に最も動揺するものです。どのような治療が自分に合っているかは、自分一人で、あるいは家族や身近な人のサポートを受けて、決めることができます。

治療の他の側面と合わせて、肺がんチームは困難な症状をコントロールするために、患者さんとともに懸命に努力します。彼らは協力して必要なすべてのサポートを提供し、あなたが治療を決定し、あなたにとって最も重要なものに基づいて治療を受けられるようサポートします。

この機会に、もしまだお済みでなければ、将来の治療に関する計画書を作り、あなたの希望に沿った治療が行われるようにしましょう。

終末期医療

がんを患っている多くの患者は、コントロールできない症状や人生の終わりに向かう痛みを恐れています。腫瘍が期待した通りに治療に反応しなければ、たしかに脳の機能は悪化するかもしれません。

しかし、脳腫瘍の場合、痛みなどの症状は一般的によくコントロールされ、徐々に眠気が襲ってきます。



GLOBAL LUNG CANCER
COALITION

脳転移

© Global Lung Cancer Coalition
www.lungcancercoalition.org

この情報リーフレットは、世界肺癌連合（Global Lung Cancer Coalition: GLCC）事務局により作成され、肺がんの専門家によって検証されています。お住まいの国で利用できるサポートや情報サービスの詳細については、www.lungcancercoalition.org バージョン1 - 2024年6月をご覧ください。